

東京都 スポーツ推進委員だより

第112号

(一社)東京都スポーツ推進委員協議会

2017年 7月31日

編集:情報委員会

社員総会



平成29年度 第1回社員総会

5月20日(土)午後2時から新宿区立西新宿中学校で一般社団法人東京都スポーツ推進協議会 第1回社員総会が行われました。

新島二三彦会長より三鷹市の森副会長が5月12日に逝去なされたのご報告がありました。また第2期スポーツ基本計画について、60周年記念誌及び



来年の関東スポーツ推進研究大会への協力依頼等の挨拶がありました。

東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部地域スポーツ振興担当課長 佐藤祐樹様からは、スポーツ推進計画を今年度新たに策定し健常者、障害者を一体的に総合的に各種政策を推進していくことのお話がありました。

定足数の確認では、出席40名、委任状12名、合計52名で正会員の過半数を満たしており、総会が成立しました。議長は定款に基づき新島会長が行いました。



<議事について>

(1) 第1号議案

事業報告(平成28年度(平成28年4月~29年3月))

【会議】

- 1) 社員総会
- 2) 理事会

- 3) 各委員会(企画総務・研修・情報・女性・リーダー・関東スポーツ推進委員研究大会コア委員会)
- 4) 平成28年度東京都スポーツ推進委員協議会会長会
- 5) その他(全国スポーツ推進委員連合・関東スポーツ推進委員協議会)

【事業】

- 1) 東京都共催事業
 - ・広域地区別研修会
 - ・課題別研修会
 - ・地域スポーツ支援研修会
 - ・初級障害者スポーツ指導員養成講習会
- 2) 自主研修事業
 - ・実務研修会
 - ・ニュースポーツ研修会
 - ・女性委員会企画研修会
 - ・『都スポ協だより』の発行
 - ・顕彰
- 3) 派遣事業
 - ・関東スポーツ推進委員研究大会 山梨大会
 - ・全国スポーツ推進委員研究大会 福井大会
 - ・JOC スポーツと環境 地域セミナー
 - ・生涯スポーツ 体力づくり全国会議 2017
 - ・スポーツ推進委員リーダー養成講習会
- 4) 協力事業
 - ・東京都生涯スポーツ担当者研修会
 - ・東京マラソン 2017
 - ・新宿区シティハーフマラソン
 - ・全国スポーツ推進委員連合

(2) 第2号議案

収支決算報告(平成28年度(平成28年4月~29年3月))

- 1) 平成28年度収支決算報告
- 2) 監査報告

第1号議案、第2号議案は拍手により採決し承認されました。

- (3) 理事及び監事の重任について
- (4) 平成30年度関東スポーツ推進委員研究大会
東京大会開催に向けて

社員総会に続き、功労者表彰、永年勤続表彰の授与式が行われました。その後、受賞者を囲み祝賀懇親会が「チャイナドル」で行われました。



受賞者の皆さま、受賞おめでとうございます！

＜永年勤続表彰＞（4名）敬称略

- 鈴木 明美（中央区） 岩崎 雅子（府中市）
- 井上 芳美（清瀬市） 肥後 政幸（三宅村）



＜功労者表彰＞（28名）敬称略

- | | | | |
|-------------|--------------|--------------|---------------|
| 水谷 泰造（文京区） | 金田 浩一（台東区） | 田尻 真由美（荒川区） | 黒田 恒雄（板橋区） |
| 小岩 健一（品川区） | 菅原 弘子（大田区） | 鎌田 幸雄（立川市） | 小島 由美子（府中市） |
| 川邊 美和子（荒川区） | 大和田 昌宏（荒川区） | 鈴木 恵美子（昭島市） | 園田 有司（昭島市） |
| 清水 孝一（荒川区） | 宇田川 裕子（荒川区） | 坂 なつこ（国立市） | 保坂 智子（国立市） |
| 下村 浩子（江戸川区） | 松本 佐登美（八王子市） | 佐々木 さと子（羽村市） | 大曾根 富美子（西東京市） |
| 鈴木 与一（府中市） | 吉松 久美子（府中市） | | |
| 石井 美津子（調布市） | 森本 敏幸（国立市） | | |
| 植村 悦子（狛江市） | 平塚 佳成（清瀬市） | | |
| 中井 明（瑞穂町） | 新居 寛之（日の出町） | | |

記事・写真 情報委員会 平野 秀夫（江戸川区）

研修会  **女性スポーツ勉強会～道なき道を切り開いてきたパイオニアたち～**

開催日：6月3日（土）12時～16時45分
 会場：東京ウィメンズプラザ（青山）
 主催：モン・スポ
 （NPO法人バレーボール・モンテリオール会）
 特別協賛：日本水産株式会社
 協賛：太陽化学株式会社、株式会社ポピンス
 協力：女性アスリート支援委員会
 （一社）全国スポーツクラブコミッション
 （一社）東京都スポーツ推進委員協議会

元競泳日本代表 松田丈志氏の水泳コーチとして宮崎の水泳教室時代から、世界水泳・オリンピック代表とリオでの銅メダル獲得後、松田選手が引退するまで共に歩んできた28年間、久世 由美子さんは、表コーチが女性一人だったために、コーチ陣の会話に入らなかった事や実技指導よりも人間性を育てる事に徹し「己に負けない・自分を見失わない・夢に向かって実行する」の繰り返しだったと言う。



また、当時・女三四郎と言われた女子柔道の先駆者山口 香さんは「世界の女性スポーツと日本」のテーマからアスリートのみならず、スポーツ全般に目を向けた日本の女性の大変さを問いかけた。

久世・山口のお二人が「女性がいい仕事をするために必要なこと」は「アクティブ」であれ!! だった。

スピードスケート（ショートトラック・金メダリスト）獅子井英子さんは、役職に男性が多い中「諦めない心・役職・意志を強く」の3つをあげ、スポーツで教えられたことが仕事に生きるというテーマで、己の

経験が現在の自分に上手く変換できているという。

昨年の国体終了後、現役引退した星 奈津美さんは、3大会連続オリンピック出場・2大会連続メダル獲得を成し遂げ、裏側にあった病気との闘い・克服はスポーツに教えられたと話してくれた。



女性の身体とスポーツについて、産婦人科医・スポーツドクターの高尾美穂先生が「女性のからだを知る」について、男性と女性のちがいを端的に解りやすく、性差はすべて妊娠・出産のためにあり、エストロゲン（卵胞ホルモン）とプロゲステロン（黄体ホルモン）が視床下部の働きによって、変動・変化を起こしているとのこと。女性アスリートにとって、月経が順調にあることは、からだにある程度の余裕があるというサインであり、コンディションは医療的にもアスリート（女性）自身が選択できる現状であるとのこと。

ベンチヨガをはさんでこれまでの振り返り、シンポジウム「女性の役割」と5時間ちかくの勉強会が終了。今回の研修は男性も多く見受けられたが、スポーツに関わる方のみではなく、一般の男性にも耳を傾けてほしい勉強会であった。

記事・写真 情報委員会 白鳥敏子（北区）

研修会



平成29年6月18日(日)午後1時30分より平成29年度東京都スポーツ推進委員協議会会長会が49名の各地区会長の参加を得て新宿区立落合第二小学校多目的ルームにおいて開催されました。

会長会に先立って新島会長より、まず今年3月に策定された「第2期スポーツ基本計画」の概要について説明があり4つの視点（①スポーツで「人生」が変わる、②スポーツで「社会」を変える、③スポーツで「世界」とつながる、④スポーツで「未来」をつくる）からスポーツを推進してゆくこと、11月につくば市で行われる全国大会について、都スポ協の役員の任期と定款の任期の年のずれの修正を来年の関東大会後に行いたいことが伝えられました。

引き続きご来賓の東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部地域スポーツ振興担当課長佐藤祐樹様からは新任の挨拶、同課長代理の松下様の挨拶、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会スポーツ振興部の藤田様の挨拶と続き、都スポ協の役員（会長、副会長、財務、監事、各委員長）の紹介がありました。



各市区町村の会長の自己紹介（地区、名前、会長歴）のあと、東京都からの情報提供として「こころの東京革命」の普及啓発について、「初級障がい者スポーツ指

会長会

導員養成講習会」の案内、東京における障害者スポーツの振興ビジョンについて報告がありました。

会長会は9グループ A：千代田区・目黒区・練馬区・昭島市・三鷹市・あきる野市 B：中央区・大田区・足立区・調布市・狛江市・西東京市 C：港区・世田谷区・葛飾区・町田市・東大和市・瑞穂町 D：新宿区・渋谷区・江戸川区・小



金井市・清瀬市・日の出町 E：文京区・中野区・八王子市・小平市・東久留米市 F：台東区・杉並区・立川市・日野市・武蔵村山市 G：墨田区・豊島区・武蔵野市・東村山市・多摩市 H：江東区・北区・福生市・国分寺市・稲城市 I：品川区・板橋区・府中市・国立市・羽村市（残念ながら島部の方は出席していただけませんでした）に分かれてグループディスカッションを行い、前もってアンケートを実施していたスポーツ庁の第2期スポーツ基本計画にある「一億総スポーツ社会」の実現に向けての各地域における事業（目的・内容・成果・予定など）について発表し、題点や今後の課題等について話し合いが行われその後、全体で内容の発表を行いました。

今回も去年と同様にグループディスカッションになりましたが、地域の方により多く参加してもらえよ

うにいろいろな行事を企画していること、人集めに苦勞している地域と苦勞していない地域があること、その企画を支える為の人集めの苦勞、他の団体との協力体制の拡げ方等各市区町村の実情（行政との関わり、予算の使い方など）地域特性なども理解することができ大変有意義な会長会となりました。

会長会のあとに情報交換会が行われましたが、グループディスカッションの組み合わせと違う地域とそこでも活発な意見交換が行われ今後の活動に役立つ一日となりました。

記事 天野長光（渋谷区会長）

写真 情報委員会 稲垣 美保（中野区）

勉強会



ニュースポーツ研修会



平成29年6月25日(日)の13:30~16:30に、スクエア荏原（荏原平塚総合体育館）において、一般社団法人 鬼ごっこ協会 羽崎貴雄氏を講師に招き「スポーツ鬼ごっこ」の研修会が行われました。

参加者は75名、最初に講義の中で、「鬼ごっこ」イコール追いかけっこではなく、子供たちがどうしたら運動を楽しめるかを35年前から試行錯誤し、子どもたちが考える力をつけ、友達とどうしたら仲良くなれるのかをいろいろ試しながら、今のような「スポーツ鬼ごっこ」のルールを作られたそうです。

「スポーツ鬼ごっこ」とは、2チームに分かれて、相手のタッチを避けながら敵陣にある「宝」を奪った

回数を競うゲームです。1チーム7人で、試合時間は5分間。2回戦を行います。年齢や性別、また、運動神経のあるなしに関わらず楽しむことができます。



今回は参加者の事情を考慮していただき、特別に9名ずつ、A~Dの4チームで、3分間、2回戦の実技を行いました。

とても勢いよく走り回るので、滑ったり、転んだりする人もいましたが、沢山の汗をかいて、ゲーム終了後には少しだけ童心に戻り、参加者は笑顔になれる研修会でした。

記事・写真 情報委員会 長崎 より子（千代田区）

関東大会



関東スポーツ推進委員研究協議会栃木大会・表彰



平成29年6月9日(金)~10日(土)栃木県宇都宮市、栃木県総合文化センターメインホールを中心に

「ひろげっぺ 栃木の大地に輝け 笑顔 スポーツの輪」～スポーツでつなぐ 人の輪 心の輪～を大会テーマに1都8県のスポーツ推進委員、行政関係者の方々が集まり研修をしました。

参加者総数は1,929名、東京都からは149名が参加しました。平成30年度は一般社団法人東京都ス

ポーツ推進委員協議会が開催を担当するので、通常の大会以上に気合いが入りました。

1日目は12時30分からアトラクション①として「栃木県警察音楽隊&カラーガード隊」の軽快な音楽と色々なフラッグを使用しての演技は可憐であり、鮮やかな動きでした。

13時から開会式が始まり、関東スポーツ推進委員協議会会長秋山幸男氏の開会挨拶から始まり、ご来賓のご挨拶、歓迎の言葉が宇都宮市長佐藤栄一氏からご挨拶を頂きました。その後、表彰式に入り東京都からは8名の方が受賞されました。



次期開催県の挨拶は一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会新島二三彦会長から、スポーツ未実施者の掘り起こしについて考える機会にしたい、日程は平

成30年6月8日(金)～9日(土)、会場は東京スカイツリーに近い墨田区総合体育館等を予定していくと発表があり、開会式・表彰式が終わりました。

14時15分からアトラクション②として「岩舟武蔵太鼓」の演技があり、一人で打つ大太鼓の響きが場内を揺るがし、また、洗練されたチームとしての動きでの太鼓の響きと笛の音が印象に残りました。

14時45分から「人を創るスポーツ」をテーマにセルジオ越後氏から基調講演がありました。講師は1972年(昭和47年)来日、栃木県黒磯に住み、現在は「とちぎ未来大使」、「H.C.栃木日光アイスバックス シニアディレクター」に就任されています。

講演では、日本に来た時、生活環境の違いから近所の方から注意されたり、褒められたことがあったが、今でも近所付き合いが続いており、栃木県民は日本酒の乾杯に始まり、二次会三次会と続く。カラオケも使っている。コミュニティが生まれ新しい付き合いが始まる。スポーツは財産、友達は多いほど良い、指導した子供から懐かしがられる人になりなさい、人の繋がりができることは良いことである。挨拶は足を止めて目を見てする。歩きながらの挨拶は挨拶ではない。思い出話ができる人になれば、自分の体験を生かして、



地域で活躍をしてほしい。

障がい者サッカー教室での体験からのお話では、組織は大事、友達を作り人脈を作る、ボランティアを作る、ボランティアが多ければ、一人当たりの担当時間が少なくて済む。

結びでは、昔は生活そのものがジムでした。生活によって体が鍛えられたが、今の生活からでは体を鍛えることは難しくなり、自分自身で鍛えることが必要になってきているとお話がありました。

約1時間30分の講演中、お話は軽快で、座ることなく立ったままで、ご自分の体験談のお話ににじみ出ていました。スポーツ推進委員として今後の活動の場で役立てられるように心掛けて行きたいと思います。その日の夜は受賞者のお祝いと来年の東京大会に向けて盛り上げようとなった懇親会となりました。

2日目

- ・第1分科会9時30分、栃木県総合文化センターメインホール、テーマ「地域の特色を生かしたスポーツの振興」～県民ひとりスポーツをめざして～コーディネーター柳沢和雄氏(筑波大学大学院教授)発表市町：上三川町・矢板市・高根沢町
- ・第2分科会9時30分、栃木県総合文化センターサブホール、テーマ「多様なライフステージにおけるスポーツの振興」～元気な街づくりは、元気な人づくりから～コーディネーター藤井和彦氏



(白鷗大学教育学部准教授)発表市町：野木町・小山市・市貝町

・第3分科会8時00分から宇都宮市大谷周辺、テーマ「ウォーキングによる健康実践」～宇都宮市大谷史跡巡りを通して～講師原裕美子(とちぎ未来大使・元マラソンランナー・NPO法人Glicina 足利副理事)。

私が参加した第2分科会では、コーディネーターの

藤井和彦氏から開会のあいさつ、発表市町の紹介があり野木町の松原さんから発表がありました。

野木町スポーツ推進委員会の紹介では、



役員会・企画調整部・技術指導部・広報部があり、目的は町のスポーツ推進に寄与することで 1) スポーツ実技指導 2) スポーツ活動推進のための組織育成 3) 教育機関、住民のスポーツ行事協力 4) スポーツ団体のスポーツ行事協力とあり、子供と高齢者を目標に活動をしています。特に子供向きでは、体力向上のために・ファミリースポーツ教室・子供会行事・公民館まつり・各種スポーツ教室の実施。高齢者向けには、・高齢者スポーツ・いきいき健康教室・体力測定・のぎのん体操・各種サークル活動等の実施。町では平成28年10月10日「健康タウンのぎ」宣言をしました。

続いて、小山市の飯塚さんから発表があり、小山市スポーツ推進委員協議会委員は女性13名男性21名合計34名で組織は会長・副会長・監事・会計・県協議会・事業部・研修部・総務部となっています。



事業内容は、「みんなで歩け歩け運動」毎月実施、今年から8・9月は中止・「シニアハイキング」毎年5～6月実施、28年度は高尾山へ登る・「出前講座」年3～4回実施・「実技研修」年4回実施。また、4月のマラソン大会、10月のスポーツレクリエーションフェア等、市の行事にも参加しています。

最後に市貝町から小峰さん、青木さんから発表がありました。町では昭和57年「みどりと文化とスポーツの町」を宣言しました。市貝町スポーツ推進委員会委員は女性6名、男性9名、合計15名で会長・副会長(2、部長を兼ねる)・企画部(6)・事業部(6)で構成されています。事業としては、総会・定例会年

5回(終了後ニュースポーツ等の実技講習会の実施)
・自主事業(ミニバレーボール大会)・出前教室(スマイルボーリング、フライングディスク等すべての小学校で実施)・町の事業への協力(いちかいスポーツレクリエーション祭・市貝町健康マラソン大会等)をしています。

『町民ひとり1スポーツ』を目指す市貝町、総合型地域スポーツクラブ(会員数330人)「市貝いきいきクラブ」の運営にも力を注いでいるようです。

休憩の後、発表者全員が登壇し、コーディネーター藤井和彦氏から高齢者対象事業での参加できない方への配慮方法、他スポーツ団体との調整方法、スポーツ推進委員の確保の方法等についての質問と、アドバイスがあり第2分科会は終了しました。



記事・写真 情報委員会 才郷 正次(東大和市)

<関東功労者表彰(8名)の皆様>



和昭 和昭(葛飾区)



幸雄 幸雄(中央区)



祐子 祐子(西東京市)



孝史 孝史(豊島区)



実知子 実知子(三鷹市)



弘一 弘一(目黒区)



早苗 早苗(墨田区)



幸雄 幸雄(羽村市)

社員総会



平成29年度 臨時社員総会(第1回 実行委員会)

平成29年7月19日(水)午後6時30分から、早稲田大学西早稲田キャンパス55号館1階大会議室で平成29年度臨時社員総会として、平成30年度東

京都で開催予定の関東スポーツ推進委員研究大会東京大会第1回実行委員会が開催されました。

司会は島田副会長で、開会あいさつに一般社団法人

東京都スポーツ推進委員協議会会長新島二三彦、来賓あいさつは東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部地域スポーツ振興担当課長 佐藤祐樹様からありました。東京都からの出席者は、オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部調整課課長代理 高橋佳瑞様、同じく調整課課長代理 松下典子様と、墨田区から教育委員会事務局スポーツ振興課スポーツ振興担当 中村様の紹介がありました。

定足数の確認では出席正会員43名、委任状6名計49名で正会員の過半数を超え定款により成立しました。



また、定款により議長は会長、議事録署名人は議長及び出席した理事となります。

協議事項に入り議長から

(1) 平成30年度関東スポーツ推進委員研究大会の概要とこれまでの経過及び資料についての説明が承り承認されました。

<承認資料>

- ① 平成30年度関東スポーツ推進委員研究大会 東京大会実施要項について
- ② 研究大会会場について
- ③ 平成30年度関東スポーツ推進委員研究大会東京都実行委員会会則について

◎期日 平成30年6月8日(金)～9日(土)

◎会場

6月8日(金)

・墨田区

総合体育館

(写真右)

メインアリーナ

6月9日(土)

・墨田区総合体育館 メインアリーナ

・すみだリバーサイドホール イベントホール

・曳舟文化センター 劇場ホール



続いて、副会長の中川実行委員長から(2)実行委員会の組織体制と役割分担について(3)各地区分担金について(4)協賛金協力依頼について(5)今後の日程について資料に基づき説明があり承認されました。

<承認資料>

- ・実行委員会の組織と人員
- ・予算概算
- ・各地区への関東東京大会分担金依頼
- ・企業等協賛金の募集(お願い)
- ・協賛広告スペース金額
- ・今後の日程

記事・写真 情報委員会 才郷 正次(東大和市)

研修会



女性委員会企画研修会

昨年まで12月の第1週目の土曜日に開催していた、女性委員会企画研修会が7月22日(土)新宿区立四谷中学校コミュニティルームに於いて開催されました。14:00～16:00の酷暑の時間帯にも関わらず95名の方が参加してくださいました。

今回は『アスリートと貧血』というテーマで、全薬工業株式会社 OTC 開発部 商品開発課主任 寺田 匡宏氏に・貧血を知ろう・アスリートの貧血・貧血の診断・貧血の治療・貧血予防の食事に関してお話をいただきました。

研修会の前に全薬工業株式会社のスタッフの方々が参加者の



ヘモグロビン測定をしていただき、ヘモグロビンの量や動脈血酸素飽和度、脈拍数、末梢の血流循環を表す灌流指数など知ることが出来ました。



貧血患者の多くは鉄欠乏性貧血で、女性だけに限らず、激しい運動をするアスリートは鉄の排出や需要が増大していて、食事内容に気をつけていないと鉄不足になりやすいとのこと。

貧血になるとだるくなったり、疲れやすくなったり、パフォーマンスにも影響が出て、いつも出来ていたトレーニングが思うよう出来なくなるとのこと。

定期的に貧血チェックを行い、自覚症状がある時は

積極的に医療機関での診断を受けることを推奨しているそうです。鉄欠乏性貧血の治療としては、鉄剤（増血剤）の服用が主体となり、食生活の改善で予防することが大切とのこと。

大変参考になるお話で、激しいスポーツをしていた学生時代に、このような知識があったらもっと集中し

てトレーニング出来たのではと数十年前に思いを馳せてしまいました。

記事 情報委員会 松田 文子（豊島区）

写真 情報委員会 仲 豊子（台東区）

各地区の情報



情報ひろば

<大田区>

大田区では18出張所より推薦された57名の委員が活動しております。幅広い世代の方々向けには「OTAウォーキング」を年2回開催し毎回コースを変えて7km程度区内を歩いて頂いています。

また体育の日の「区民スポーツまつり」では、3会場に分かれて体力測定を行っております。



シニア世代向けには年2回「寿ハイキング」を行っており、自然と親しむと共に運動へのきっかけ作りを行っております。

障がい者向けには、近年ポッチャの普及に取り組んでおり、14名が普及員の資格を取得し今年度より月1回のペースで障がい者健常者が一緒になった体験研修会を主催しております。子ども向けには、サマースクールを通じてニュースポーツを紹介したり「大田っ子体操」の指導等を行っています。

また、区内の地域スポーツクラブと協力して7月に「おおたスポーツ健康フェスタ」が開催されており委員は「おもしろ運動会」の運営進行や、地域スポーツクラブの一員としてプログラムを運営しております。

イベント以外でも、3地区に分かれて地域スポーツクラブ等を通じて教室運営等を協力したり、多様な立場の区民の皆様のニーズに対応すべく日々精力的に活動しております。

大田区スポーツ推進委員 伊藤晋一郎

<小金井市>

管外研修の一環として3月11日に昭和記念公園ゆめひろばにて開催された「ニュースポーツ EXPO in 多摩 2017」に参加しました。会場では「誰でも楽しめる33種類のニュースポーツ」と題して、実際に体験できるブースが用意されており、限られた時間のなかでより多くのニュースポーツを体験しました。「誰でも楽しめる」のテーマのとおり、各種目それぞれに面白さがあり、短時間の体験にもかかわらず、時間を忘れて夢中になってしまう場面もありました。

私たちの活動に活かせそうな競技が見つかったら、競技方法だけでなく道具の価格や安全性なども、しっかりと確認しました。

また会場に設けられたステージでは、「東京2020オリンピック・パラリンピック フラッグツアー」が行われ、登壇したアスリートの姿に、子どもから大人まであたたかい声援を送っていました。

その後、武蔵野体育館に移動して、プロバスケットBリーグ「東京サンレーブス VS 金澤武士団」を観戦しました。普段は感じることのできない大迫力に興奮しましたが、同時に、チアガールのみなさんが選手と一体となってゲームを盛り上げていることに気付かされました。



まさにスポーツの原点である「誰でも楽しめる」を体感した1日となりました。

まさにスポーツの原点である「誰でも楽しめる」を体感した1日となりました。

小金井市スポーツ推進委員 藤井 隆之

＜大島町＞

大島町は年間を通じて、スポーツイベントの多い島で、島民だけで参加のスポーツ大会、島外、島内住民参加のスポーツ大会等が数多く実施されています。



スポーツ推進委員の数は男性12名女性3名の計15名です。推進委員はみな仕事を持っている人が主で各スポーツクラブに所属して、推進委員のみの人、現役でスポーツをしている人それぞれです。

毎年3回町教育委員会の職員とスポーツ推進委員で会議を行い、各大会等の反省や要望、新年度の町主催のスポーツ大会の要項日程等を決め、そしてこの会議では各大会の審判長、その他の役員等を事前に決定し円滑に大会が行われるようにします。

町主催の事業の他に島内、島外者が参加できる多くのスポーツ大会にも審判等で推進委員が協力参加しております。また、大島体育協会が都のジュニア育成事業で行っている事業にも参加し様々な面でお手伝いしました。

今後も町と協力しながら地域の活性化やスポーツ人口増加を目指してスポーツ推進委員の活動をしていきたいと思ひます。

大島町スポーツ推進委員長 鶴崎 勝彦

編集後記

今号は東京都スポーツ推進委員協議会60周年誌の編集や、来年度開催される関東スポーツ推進委員研究協議会東京大会の打ち合わせなど、例年の事業以外の打ち合わせが多い中、皆様のご協力で「都スポだより112号」がどうか発行できましたこと、厚くお礼申し上げます。

平成30年6月開催の関東スポーツ推進委員研究大会東京大会は、実行委員会はもちろん、拡大委員会のメンバーとして一般会員の皆様の協力が必要となります。

情報委員会メンバーも頑張っていきますので、会員の皆様のご協力とご指導をお願いいたします。

編集 情報委員会 松田 文子 (豊島区)

#####